

令和7年度畜産業振興事業の執行状況

(単位：百万円)

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
畜産業振興事業 (うち不用額の 大きい事業)		109,033	42,030 (24,347)	67,003	
1	優良和子牛生産推進緊急支援事業	11,000	52 (13)	10,948	本事業は、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者へ奨励金を交付する事業である。 令和7年度は、平均価格が発動基準価格を上回り、奨励金の交付がなかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。
2	肉用牛緊急特別対策事業	10,000	958 (14)	9,042	本事業のうち「和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業」は、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、産地の基盤強化に資する取組を実施する和子牛生産者へ奨励金を交付する事業である。 令和7年度は、平均価格が発動基準価格を上回り、奨励金の交付がなかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。
3	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	5,811	1,893 (1,395)	3,918	本事業は、各種自然災害等により畜産農家の経営に大きな影響を及ぼす被害が発生した場合に、被災農家の経営継続・再開を支援するために、予め措置している事業である。 令和7年度は、自然災害等による被害が想定より少なく、結果として予算規模に対して補助事業の申請者が少なかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
4	肉用牛経営安定対策補完事業	3,828	1,630 (616)	2,198	本事業は、繁殖雌牛の増頭の取組への支援、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援、地域の特色ある肉用牛振興対策、肉用牛流通促進対策、肉用牛導入支援、肉用牛流通の多様化の推進及び肉用牛の広域流通体制の効率的、持続的な取組への支援等肉用牛生産に係る経営安定対策を補完する取組に対して支援する事業である。 令和7年度は、飼料や資材の価格高騰等の影響による繁殖雌牛等の導入意欲の低下から、「地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業」のうち「遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保対策」及び「繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備」における申請件数の減少等のため不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
5	食肉流通改善合理化支援事業	2,667	1,111 (-)	1,556	本事業は、産地食肉センター等の設備改善、食肉流通の効率化、食肉卸売経営の安定化、食肉取引の円滑化に係る調査、国産食肉の新需要創出の取組等を支援する事業である。 令和7年度は、中小食肉卸売事業者に対する民間融資の円滑化を図るために債務保証を受けている事業者において、代位弁済を必要とする事案がなかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
6	畜産副産物適 正処分等推進 事業	5,669	4,361 (513)	1,309	本事業は、畜産副産物の適正処分を推進するため、牛肉骨粉の製造や、焼却に係る経費の支援等を行う事業である。 令和7年度は牛肉骨粉の鶏・豚等への飼料利用の再開に伴う飼料原料向け販売量（補助対象外数量）の増加が想定よりも多かったことにより焼却量が減少したこと、及び肥料規制の見直しを受け、一部メニューを中止したこと等から不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
7	加工原料乳生 産者経営安定 対策事業	1,289	1 (-)	1,288	本事業は、前年度の加工原料乳平均取引価格が補填基準価格（過去3年間の平均取引価格）を下回った場合に、生産者へ補填金（差額の8割）を交付する事業である。 令和7年度は、令和6年度の当該取引価格が補填基準価格を上回り、補填の発動がなかったため不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
8	酪農経営支援 総合対策事業	4,566	3,487 (1,744)	1,079	本事業は、酪農生産基盤の維持・強化を図るために、労働負担軽減に資する機械装置や生乳流通関係機器の導入等に対する支援を行う事業である。 令和7年度は、資材価格の上昇等により機械装置等の導入を抑える動きがあったため不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
9	国産畜産物安 心確保等支援 事業	1,548	810 (-)	737	本事業は、豚熱経口ワクチンの導入・保管等を行う事業である。 令和7年度は経口ワクチンの在庫状況に鑑み、輸入回数・数量が想定より少なかったこと等により不用が発生したが、事業は適正に執行された。

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
10	肥育牛経営改善等緊急対策事業	2,028	1,319 (-)	709	本事業は、令和4年度までの配合飼料価格安定制度の補填金財源に充てる借入を行った際に、利子相当額を助成する事業である。 令和7年度は、金利の上昇を見込んだ必要額が措置されたが、金利上昇の影響が小さかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。
11	畜産特別支援資金融通事業	911	564 (49)	347	本事業は、畜産経営体のセーフティネットとして措置されている事業である。 令和7年度は借入者に代位弁済が発生した際の費用の一部を補助する保証円滑化事業において、申請件数が想定より少なくなったことにより不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
12	堆肥舎等長寿命化推進事業	213	60 (-)	152	本事業は、堆肥舎等の長寿命化や畜産環境対策の推進等の取組に対し、支援する事業である。 令和7年度は、申請件数が想定より少なかったことにより不用額が発生したが、令和6年度に比べ、申請件数は増加しており、事業は適正に執行された。
13	飼料価格高騰対策事業	411	276 (-)	134	本事業は、令和5年度以降の配合飼料価格安定制度の補填金財源に充てる借入を行った際に、利子相当額を助成する事業である。 令和7年度は、金利の上昇を見込んだ必要額が措置されたが、金利上昇の影響が小さかったため不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。
14	養豚経営安定対策補完事業	217	84 (16)	133	本事業は、種豚の能力向上への集団的な取組、家畜人工授精や飼養管理技術の向上・習得のための研修会、アフリカ豚熱等のリスク低減等の養豚に係る経営安定対策を補完す

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					る事業である。 令和7年度は、飼料費や資材費等の高騰や豚熱発生等により、種豚更新や凍結精液の保存・供給に必要な機器の導入等を控える動きがあったため不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
15	畜産高度化推進リース事業	119	4 (-)	116	本事業は、畜産環境対策リース事業の借受者が加入する保証保険に係る保険料相当額及び損害保険に係る保険料相当額を支援する事業である。 令和7年度は、景気低迷や資材高騰等による畜産環境に対する投資意欲の減退等の外的要因により、当該リース事業の貸付が低調となったことから不用額が発生したが、事業は適正に執行された。
16	畜産経営安定化飼料緊急支援事業	149	49 (0.2)	100	本事業は、配合飼料工場の設備の廃棄・統合等による事業再編を支援する事業である。 令和7年度は、新規の事業再編の要望がなかったことから不用額が発生したものであり、事業は適正に執行された。

注1：補助金ベース。百万円未満を四捨五入して表記しているため計算が合わない場合がある。

注2：全体の予算額には、複数年度分として予算措置された次年度以降分の額を含む。

注3：1～16に示す「不用額の大きい事業」は、執行率80%を上回った2事業（2事業の不用額計：268百万円）及び複数年度分として予算措置された3事業（3事業の不用額計：32,968百万円）を除く、執行率80%未満の事業。

なお、和牛肉需要拡大緊急対策事業及び国産牛乳乳製品の需要拡大・競争力強化対策事業は、令和6年度補正事業及び令和7年度補正事業があり、それぞれ複数年度分として予算措置されている。

和牛肉需要拡大緊急対策事業のうち、令和6年度補正事業は執行率80%を上回っている事業として、令和7年度補正事業は複数年度分として予算措置された事業としてそれぞれカウントしている。国産牛乳乳製品の需要拡大・競争力強化対策事業については、令和6年度補正事業及び令和7年度補正事業のいずれも複数年度分として予算措置された事業としてカウントしている。

注4：予算繰越を行った各事業の主な理由は、事業実施主体から間接補助事業者に対する補助金交付の一部が翌年度になったためである。

令和7年度における畜産関係の緊急対策について

物価高騰、畜産物在庫等の対策として、機構は以下のとおり、畜産業振興事業の一環として緊急支援対策を実施した。

《凡例、「新規（拡充）緊急対策：□」》

1 物価高騰対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1 □	和牛肉需要拡大緊急対策事業	・和牛肉の販売促進等の取組、和牛肉関連イベント等における消費拡大・消費者理解醸成の取組、インバウンド等向け需要拡大の取組等、和牛肉を提供する取組等について支援	令和6年度補正予算： 16,787,385 令和7年度補正予算： 16,984,982

2 畜産物の在庫対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1 □	バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業	・バター・脱脂粉乳需給の不均衡を改善するための取組を行う生乳生産者団体に対し、対象数量に応じた奨励金を交付 ・物流2024年問題へ対応するため、農協等と連携して、集送乳経費の合理化に取り組む生乳生産者団体に対し、対象数量に応じた奨励金を交付	1,658,950

3 その他緊急対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1 □	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	・自然災害等により被害を受けた畜産農家等の経営継続・再開に向けて、政府の方針と協調し、被災畜舎・機械の補改修、一時的な家畜の避難、家畜の再導入、代替飼料の共同購入、停電に備えた非常用電源の整備、感染症発生農場への代替要員の派遣、肉用子牛の計画出荷や家畜伝染病の発生農家への互助金の交付等を支援	5,810,911
2	肥育牛経営改善等緊急対策事業	・物価高騰に対応するため、配合飼料価格安定制度の基本的な機能を維持し、補填金の交付に必要な資金に充てるために、融資機関から資金の借入れを行う場合に要する利子相当額について支援	2,028,073
3	飼料価格高騰対策	・配合飼料価格安定制度の通常価格差補填金の交付	410,632

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
	事業	に必要な資金に充てるために融資機関から必要な資金の借入れを行う場合に要する利子相当額その他の必要な経費について支援	
4	優良和子牛生産推進緊急支援事業	・ 和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、優良な和子牛を生産するために、飼養管理向上のための取組を複数実施する和子牛生産者に対して、奨励金を交付	11,000,000
5 □	国産牛乳乳製品の需要拡大・競争力強化対策事業	・ 生乳生産者がチーズ向け生乳の品質向上のための取組を行った場合に、乳質基準を満たした生乳に対し奨励金を交付 ・ チーズ製造者における技術研修会、国際コンテスト等への参加、チーズの普及活動等の取組を支援 ・ 乳業者等が脱脂粉乳の用途変更を行い、飼料用の需要がある分野の実需者に販売することを推進する取組について支援 ・ ECサイト販路開拓及び販売流通形態の変更、脱脂粉乳等の新たな活用方法の開発及び普及等、創意工夫による牛乳乳製品の消費拡大等の取組を支援 ・ 年末年始の不需要期の生乳需給の安定に万全を期すため、この期間に全乳哺育等により生乳の出荷調整に取り組んだ酪農経営体に対して奨励金を交付 ・ 暑熱対策資材・機器の導入及び夏季受精卵移植への奨励金の交付の取組を支援	令和6年度補正予算： 10,075,907 令和7年度補正予算： 13,100,000
6 □	肉用牛緊急特別対策事業	・ 和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、和子牛の産地基盤強化に資する取組を実施する和子牛生産者に対して、奨励金を交付 ・ 既設の食肉処理施設において、2施設以上が集荷、販売及び流通等に関する連携計画を策定した場合に、食肉等の高度な衛生管理体制の整備等の促進のための浄化槽・冷蔵設備等の整備・改修を支援	10,000,000